

## 中学生・高校生ポップコンテスト2025 優秀賞作品

※1…「◎」は鳥取県書店商業組合特別賞受賞作品。

※2…「推」は推薦図書。書店（鳥取県書店商業組合）が中学生、高校生に読んでほしい本として推薦した本。

「自」は自由図書。学校図書館、県立・市町村立図書館、公民館等にある本で、中学生・高校生が他の人にもすすめたい本。

学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
鳥取大学附属中学校	2	寺岡 優希		推／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『謎の香りはパン屋から』 土屋うさぎ／著 宝島社<sup>◎</sup></p> <p><b>焼きたてのパンが食べたくなる！</b><sup>◎</sup></p> <p>舞台は大阪のパン屋さん。会話も歩くスピードも早い大阪で、<sup>◎</sup>日常の中にある小さな違和感を丁寧に拾い集めて謎が解き明かされていく。テンポの早さと繊細さ、この対比がいい。読み終わると、粉モノよりパンが食べたくなる！<sup>◎</sup></p>	<p>不要な言葉がそぎ落とされ、選り抜かれた言葉でぎゅっと凝縮されたキャッチコピーが小気味よい。読後感を想像させるような、期待高まるコピーです。</p>	<p>謎の香りはパン屋から（土屋うさぎ／著 宝島社）</p>
鳥取県立皆生養護学校高等部	2	矢曳 未来		自／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『かがみの孤城』 辻村深月／著 ポプラ文庫<sup>◎</sup></p> <p><b>かがみの孤城</b><sup>◎</sup> <b>まだ見ぬ誰かがあなたを待ってる</b><sup>◎</sup></p> <p>“私たちは助け合える。一緒に聞える。”<sup>◎</sup> あることをきっかけに学校に通えなくなってしまったころは、一夏の不思議な体験をします。<sup>◎</sup> 今を一生懸命に生きる全ての人に読んでほしい感動の一冊です。<sup>◎</sup></p>	<p>本屋大賞も受賞した人気作品ですね。「あなたを待ってる」というキャッチコピーは、登場人物に向けたメッセージとも、読者に向けたメッセージともとれる。この二重写しの効果により、読者を作品の世界へいざなう、秀逸なキャッチコピーです。</p>	<p>かがみの孤城（辻村深月／著 ポプラ文庫）</p>
青翔開智中学校	3	桑野 有彩		自／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『サルくんとぶたさん』 たどころみなみ／著 汐文社<sup>◎</sup></p> <p><b>音がない世界で心は踊る</b><sup>◎</sup></p> <p>あなたは音のない世界はどんな世界だと思いますか。<sup>◎</sup> この本は生まれつき耳が聞こえないぶたさんとサルくんに音を見せてくれるサルくんのお話です。私がこの本を読んでほしい理由は耳が聞こえない世界は不自由だけじゃないということを知って欲しいからです。音はこの本で描かれているように体や心で感じたり目で見える形で表現することができるのです。サルくんのように自分ができることで相手を幸せにする。そんな優しさを感じるこの本でぶたさんと一緒に心踊る体験をしてみませんか。<sup>◎</sup></p>	<p>本文に強いメッセージ性を感じます。コピー作成者の思いがしっかり伝わります。是非、ひとりでも多くの方に読んでいただきたいと思います。</p>	<p>サルくんとぶたさん（たどころみなみ／著 汐文社）</p>
鳥取大学附属中学校	2	松浦 孝紘		自／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『方舟』 夕木春央／著 講談社<sup>◎</sup></p> <p><b>なぜ、犯人を探すのか。</b><sup>◎</sup> <b>生き残るためだ。</b><sup>◎</sup></p> <p>山奥の地下建築「方舟」で一夜を過ごすことになった、僕と大学時代の友人、従兄、それから三人家族。<sup>◎</sup> ところが地震によってその入り口が塞がれる。<sup>◎</sup> 脱出は可能だが、一人だけ犠牲を強いられるという、絶望的な状況の中で起きた殺人。<sup>◎</sup> 脱出せずに残るのは、犯人以外にはありえない。<sup>◎</sup> 誰が、なぜ事件を起こしたのか？<sup>◎</sup> そして最後の最後待ち受ける衝撃――。<sup>◎</sup> 読んでみないとわからない驚きを、ぜひ。<sup>◎</sup></p>	<p>端的に物語をとらえたキャッチコピーが素晴らしい。そして本文を読むと、ますます面白そうだと思うてくる。</p>	<p>方舟（夕木春央／著 講談社）</p>
鳥取大学附属中学校	2	西田 菜		自／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『青春ゲシュタルト崩壊』 丸井とまと／著 スターツ出版<sup>◎</sup></p> <p><b>「エモい」なんて言葉で</b><sup>◎</sup> <b>私の青春は終わらない</b><sup>◎</sup></p> <p>この本は、自分の限界に気づくことができなくなり、本当の自分を見失ってしまった朝葉の自分自身について見つめなおす成長物語です。朝葉の「自分を変えたい」というその一心である青年との再会をきっかけにもとの自分へ導いていきます。このキャッチコピーは、「エモい」という言葉を逆手に取り、せつなく、甘ずっぱい青春とともにという深い作品性を表しました。この作品の個性と朝葉の個性も結びついていると思います。<sup>◎</sup></p>	<p>キャッチーな言葉を上手に取り入れている。ひきつけられる文言で、どんな物語か読んでみたくなる。</p>	<p>青春ゲシュタルト崩壊（丸井とまと／著 スターツ出版）</p>
鳥取大学附属特別支援学校中学部	3	中嶋 乃彩		自／キャッチコピー	<p>中学生・高校生ポップコンテスト2025 キャッチコピー部門 優秀賞作品</p> <p>『100万回生きたねこ』 佐野洋子／著 講談社<sup>◎</sup></p> <p><b>愛を知って</b><sup>◎</sup> <b>ねこはもう二度と生き返らなかった</b><sup>◎</sup></p> <p>100万回生きたねこの話。何回も死に何回も生き返っていたねこだったがある時、白いねこを好きになって結婚し、幸せにくらしていた。その後、白いねこが亡くなったことで、100万回生きたねこは初めて悲しい気持ちを知るとい話。好きな人がいるということの大切さがわかる本。<sup>◎</sup></p>	<p>タイトル（書名：生きた）とコピー（生き返らなかった）が相反していて、どうい話かなと興味を持つ。本文にあらずしが書いてあるが、改めて自分で読んでみようと思わせる作品です。</p>	<p>100万回生きたねこ（佐野洋子／著 講談社）</p>

学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
米子市立福米中学校	2	片山 詩菜		推/デザイン		7つの物語を代表するようなイラストが巧みに配置され、本の世界へといざなってくれます。時間をかけて細部までこだわって作り上げられていて素晴らしい！	月まで三キロ (伊予原新/著 新潮社)
鳥取県立米子白鳳高等学校	1	小谷 陽太		推/デザイン		作品全体をパンの色の濃淡でうまくまとめている。右上のクロワッサンが目を引き、タイトルとデザインが調和している。	謎の香りはパン屋から(土屋うさぎ/著 宝島社)
鳥取市立西中学校	1	中野 心珀		推/デザイン		シンプルだけど色使いがオシャレ。「月」の絵と文字が、アイキャッチの役割を見事に果たしている。「この本が明日も”生きる理由”になる。」というキャッチコピーには強いメッセージ性が感じられ、どんな内容なのか読んでみたくなる、素敵なポップに仕上がっています。	月まで三キロ (伊予原新/著 新潮社)
鳥取市立西中学校	2	岸田 幸之輔		推/デザイン		イラスト、フォント、題名の配置…と、細部にまでとことんこだわり、つくりあげられたポップに思わず拍手。本の裏側まで想像させるような奥深いメッセージです。	月まで三キロ (伊予原新/著 新潮社)
八頭町立八頭中学校	1	突出 梓沙	◎	推/デザイン		物語が静かに進んでいく様子がよく表現出来ていると思います。頭の中に浮かぶイメージを具現化した作品です。	月まで三キロ (伊予原新/著 新潮社)
米子市立福米中学校	2	森灘 千尋		推/デザイン		美味しそうなパンの絵にまず興味を惹かれます。ミステリーなのにほっこりとする内容の本に相応しいPOPです。	謎の香りはパン屋から(土屋うさぎ/著 宝島社)

学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
米子市立美保中学校	2	永井 心子		自／デザイン		スッキリとしていて、野菜の濃い色に目を惹かれます。鶏も上手く描かれていてタイトルが目立つように工夫されています。右上のコメントは卵なのか、その中に、簡潔に紹介されている。全体のスッキリ感に惹かれます。	西の魔女が死んだ(梨木香歩／著 新潮社)
境港市立第一中学校	2	小笹 萌子		自／デザイン		物語を暗示するようなイラストで、物語の展開を期待させるようなコメントが横に配置してあります。全体的に落ち着いた配色で、細かな所にも気を配っており、すっきりとしています。	街角には物語が……(高橋方子／著 偕成社)
境港市立第一中学校	2	金田 千怜		自／デザイン		まずはキャッチコピーのインパクトに圧倒される。しかし、それとは対照的な優しい絵柄と色使い。そのミスマッチにかえって心をひかれてしまう。果たしてどんなストーリーが待っているのか、予測されないつかみどころのなさ、このポップの魅力でしょうか。	わが家は幽世の貸本屋さん(忍丸／著 マイクロマガジン社)
境港市立第一中学校	2	中島 弥々		自／デザイン		不穏なキャッチコピーがインパクト大。水彩絵の具のにじみを生かし、ホタルの光をうまく表現している。	みんな蛍を殺したかった(木爾チレン／著 二見書房)
境港市立第一中学校	2	金田 奈々美		自／デザイン		タイトルにぴったりの背景です。コメントも中央に配置されて、整然としていて、とても好感がもてるポップです。文字色も見やすい色で書いてあり、物語の雰囲気を感じさせているようです。	35年目のラブレター(小倉孝保／著 講談社)
境港市立第一中学校	2	箕矢 有楽	◎	自／デザイン		前向きでからっと明るいキャッチコピーが読者の心をつかみます。情報がすっきりと整理されていて、読みやすいデザインです。	満月のとちゅう(はんだ浩恵／著 フレーベル館)



学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
鳥取県立米子南高等学校	2	北尾 美咲		自／デザイン		インパクトのあるキャッチコピーです。コメントでは簡潔に登場人物を紹介し、タイトルをあらわすかのようなお店の中のイラストがとても良い。グルメ好きの人が思わず手に取ってしまいそうなポップです。	小説 孤独のグルメ 望郷編(壹岐 真也／著 扶桑社)
鳥取市立北中学校	3	バトブレブ ソロンゴ		自／デザイン		いかにも執筆中であるかのような原稿用紙にコメントが書かれており、物語が書かれているのかのように錯覚して思わず読んでしまいます。アイデアに感心します。タイトルやイラストの配置も工夫されています。	人間失格(太宰治／著 新潮社)
鳥取県立米子西高等学校	2	繁浦 夏菜		自／デザイン		パーツを何枚も貼り重ねたデザインが秀逸。文字情報も多いわりに、配置が上手いのでしつこくない。「今を生きるすべての人に贈りたい」というキャッチコピーにとっても力があり、中高生が読んでみたくなるようなメッセージ性を感じます。	ぼくは勉強ができない(山田詠美／著 新潮社)
琴浦町立赤碕中学校	3	高力 奈々		自／デザイン		物語のキーワードとなる「ピオープ」を自分なりにイメージし、イラストとして中央に配置するアイデア、すてきです。やわらかな色彩が、静かに温かく読者の背中をおしてくれるようです。	17歳のピオープ(清水晴木／著 幻冬舎)
国立米子工業高等専門学校	1	入江 実波		自／デザイン		字体、色彩、イラストから優しい雰囲気伝わります。本への愛が感じられる温かい作品です。キャッチコピーの問いかけが読者をぐっと引きつけます。	スピノザの診察室(夏川草介／著 水鈴社)
三朝町立三朝中学校	2	中村 心優		自／デザイン		澄んでいない青を全体に使うことで、息苦しい感じが伝わります。ただ、それだけではなく、黄色の光をプラスすることで希望も表現出ています。	溺れながら、蹴りつけろ(水瀬さら／著 PHP研究所)

学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
鳥取県立米子高等学校	3	福田 夏希		自／デザイン		的確なキャッチコピーで文字色にも工夫を凝らしてあります。コメントも簡潔でわかりやすい。クジラのイラストも良いですし、タイトルの文字の配置も良いです。個人的な好みでいえば“一推”の作品です。	52ヘルツのクジラたち(町田そのこ／著 中央公論新社)
鳥取県立鳥取西高等学校	2	大森 一芭	◎	自／デザイン		洗練された構図と色使いが抜群。江戸時代の街並み、道を埋め尽くす和傘、そこに書き込まれた「マーケティング」「シェアリング」「ブランドイメージ」などの現代的な用語とのコントラストが、本の内容へと興味を誘う、巧みな仕掛けになっています。	400年前なのに最先端！江戸式マーケティング(川上徹也／著 文藝春秋)
鳥取県立鳥取西高等学校	2	前田 佳子		自／デザイン		背景の桜の花の色に目が惹かれます。その後には時代を象徴するようなイラストが施されてタイトルと物語を浮かび上がらせています。タイトルの文字とコメントの文字に少し工夫がほしいですが、上手くできています。	人よ、花よ、(今村翔吾／著 朝日新聞出版)
鳥取市立桜ヶ丘中学校	2	岡本 明真		自／デザイン		防護服を着た人物が目を引く。リードのレイアウトが秀逸かつ読みやすい。一見、シンプルな作品に見えるが、全体がうまく構成されている。	フロントライン(増本淳／著 サンマーク出版)
鳥取大学附属中学校	1	小野寺 奈緒		自／デザイン		赤と青の対比に目を奪われる。そこにロンドンと京都を連想させる絵柄、タイトルの散らし方等、工夫が感じとれます。	シャーロック・ホームズの凱旋(森見登美彦／著 中央公論新社)
鳥取大学附属中学校	3	加藤 沙奈		自／デザイン		よく見るととても細やかな細工が施してあるのがわかる。タイトル・キャッチコピー・リードがうまく配されており、完成度が高い。	青くて、溺れる(丸井とまと／著 KADOKAWA)

学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
鳥取県立八頭高等学校	1	清水 一花		自／デザイン		ミステリーではあるけれど、ほっこりと、温かい気持ちで読めることを期待させてくれる、そんな力がこのポップにあります。	鴨川食堂おまかせ (柏木圭一郎／著 小学館)
鳥取県立八頭高等学校	3	岸田 小枝		自／デザイン		立体感のあるデザインが秀逸。パステルカラーの優しい色使いも、この本の世界に引き込むような仕掛けとして機能しています。かと思えば、「生々しくて、息苦しい。」というぐっと胸に刺さるようなキャッチコピーの重厚感。心を揺さぶる作品です。	のはな通信 (三浦しをん／著 KADOKAWA)
鳥取市立西中学校	1	近藤 諒汰朗	◎	自／デザイン		物語の世界へと読者を誘いこむような、ほのぼのとしたイラストがかわいく、「読みたい」気持ちを刺激します。イラストの葉っぱ1枚1枚までいいえががれていて、本への愛情を感じます。	だれも知らない小さな国 (佐藤さとる／著 講談社)
鳥取市立西中学校	2	佐藤 月咲		自／デザイン		背景の血痕をイメージさせる赤塗りが印象的。物語の世界観を上手に表現している。	透明になれなかった僕たちのために (佐野徹夜／著 河出書房新社)
智頭町立智頭中学校	1	笹尾 岳広	◎	自／デザイン		乱歩作品の読む前から少しくわてドキドキする感じがシンプルな絵なのにしっかりと伝わってきます。	透明怪人 (少年探偵・7) (江戸川乱歩／著 ポプラ社)
智頭町立智頭中学校	1	山本 蒼依		自／デザイン		題名やイラストがバランスよく配置され、情報が整理されています。背景と、イラストの色の対比が作品を引き立たせていて、すっきりとしてかっこいいです。	ハリー・ポッターと賢者の石 (J.K. ローリング／著 静山社)



学校名	学年	名前	書店賞 (※1)	区分 (※2)	作品画像	審査員コメント	ポップで紹介した本
鳥取県立米子白鳳高等学校	3	門脇 未緒		自ノデザイン		本のタイトルに対する、とても印象的なキャッチコピー。どんな物語なのかとても引き付けられる。文字中心だが、すっきりとうまくまとめられている。	爆弾(呉勝浩 / 著 講談社)
湯梨浜学園高等学校	1	濱野 梨奈		自ノデザイン		シンプルかつ大胆なデザインとキャッチコピー。「おもしろい!!」と言い切られてしまったら、もはや反論などできないような力強さがあります。余分なものを排除した、潔いメッセージになっており、インパクトは十分です。	オカルト「超」入門(原田実 / 著 星海社)
北栄町立大栄中学校	2	谷岡 笑		自ノデザイン		やわらかく優しいデザインで、物語のイメージが伝わってくる。添えられたイラストとキャッチコピーが素敵で温かい印象を与える。	笑顔の花が咲く(トレシー・コーデュロイ / 著 1 万年堂出版)
北栄町立大栄中学校	3	遠藤 晴恵		自ノデザイン		背景にはお嬢様と探偵の執事を想像させるイラストで、その上にタイトル、コメントが同じような色で置かれているため、ややゴチャついた感がありますが、なぜか目を惹かれるような魅力を感じるポップです。	謎解きはディナーのあとで(東川 篤哉 / 著 小学館)
北栄町立大栄中学校	1	砂原 明蘭	◎	自ノデザイン		人物のイラストの中に描かれたカラフルでバラエティに富んだイラストが、主人公「成瀬あかり」の魅力を表現している。どんな物語が待っているのだろうと、ワクワクさせられるデザインです。読む前から「成瀬に会ってみたい」と思っています。	成瀬は信じた道をいく(宮島未奈 / 著 新潮社)